

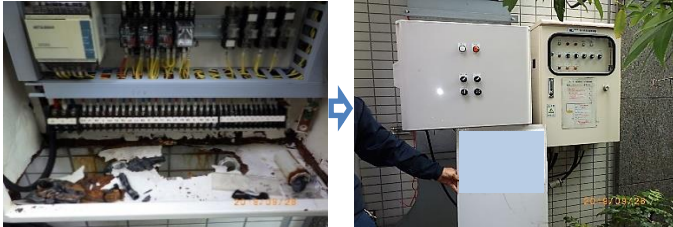
丁寧な熱心な作業も技術の一つです！！

適切な是正措置で、緊急出動・警報ゼロに向かっていきます！！

令和元年もあと1ヶ月で過ぎようとしています。本年も災害の多い年でした。今年もディスポーザー排水処理槽から発生する諸問題の解決に、積極的に取り組んでまいりました。その結果、ディスポーザー排水処理システムの不具合解消と、警報及び緊急出動がゼロに近づきつつあります。

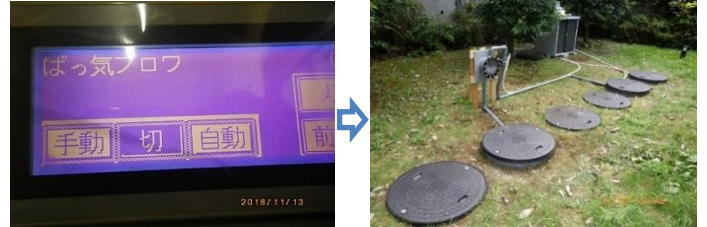
① 制御盤腐食故障(制御盤がボロボロ)

弊社の非委託、管理会社より制御盤腐食故障で緊急要請、要請翌日に仮設盤で対応し台風19号警報逃れました。



④ dsp処理槽より臭気発生、ブロー1年間停止案件の処理

悪臭で苦情のため解決を求められ委託となりました。dsp・HVシステムの導入で臭気問題を解決し正常となりました。



② 非委託案件で調査依頼を受けました。

処理水は開口部より溢流し床排水ポンプで放流していました。処理槽に付いた水垢で相当の時間が推察できます。



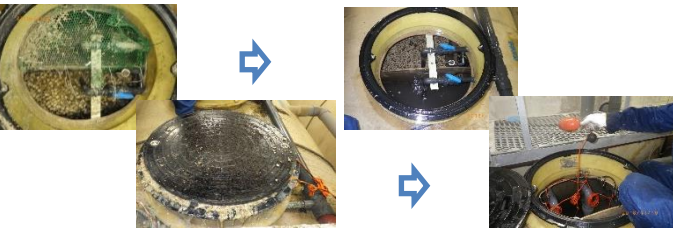
⑤ 割れ担体の流出

割れ担体が流出し分離槽を経由し放流ポンプ槽に流れ、ポンプを閉塞するため担体流出防止スクリーン設置で警報STOP。



③ 非委託案件でDSP処理槽から臭気が、調査依頼あり

ポンプ槽より溢流、警報フロートは槽外にあり。ポンプ閉塞解除、槽内清掃と新型スクリーン設置で全て正常運転となる。



⑥ dsp排水中継ポンプ槽、警報Stopを目指して！

油脂分ゼロ、ポンプ槽の実証テストを開始しました。経過は、写真右の通り油脂ゼロ、実証テスト継続中です。



水物語 No69

寒椿の花言葉は「申し分のない美しさ」です！！



汚泥ゼロ・臭気ゼロ！
 DSPハイブリッドシステム推進中！
 株式会社クリーンテックサービス東京

椿の花は古来から日本人に愛されてきました。京都の龍安寺には室町時代の椿が残っているそうです。

徳川幕府が開かれると、江戸に多くの神社、寺院、武家屋敷が建設されました。それに伴い多くの庭園が営まれ椿も植栽されました。ことに徳川秀忠が吹上御殿に花壇を作り、多くの花を献上させたそうです。これが江戸椿の発祥と言われています。

一方、肥後、加賀などの大名、京都の公家などが園芸を好んだことから、庶民の間でも大いに流行し、たくさんの品種がつくられました。茶道でも大変珍重され、冬場の炉の季節は茶席が椿一色となることから、「茶花の女王」の異名をもっています。

ツバキの花は花卉が個々に散るのではなく、多くの花卉が基部でつながっていて芯を丸ごと落ちる。それが首が落ちる様を連想させるために、入院のお見舞いにもっていくのはタブーとされています。この様は古来より落ち椿と表現され、俳句においては「春」の季語です。椿の字の音読みは「チン」で椿山荘の固有名詞にも使われています。